



茨城県龍ケ崎市 平成29年8月 定例記者会見資料【イベント情報】

～防災・減災日本一のまちづくり～

小学生のころから空の変化を敏感に感じ、いざという災害時のために備えよう 市内4小学校で高学年生を対象の「防災の授業」を実施(9/7～)

防災・減災日本一を目指す本市では、今年度、(株)ハレックス（東京都品川区）と気象防災アドバイザー業務委託契約を締結しています。

その平常時の活動の一環として、市気象防災アドバイザーである酒井重典(さかいしげのり)気象予報士を講師とし、9月から10月にかけて気象災害などを小学生が学ぶ「防災の授業」を市内4小学校の高学年生を対象に実施します。

なお、本授業は昨年度気象庁モデル事業において酒井気象予報士が本市に派遣された際にも開催されました。その際、好評であったことから今年度は本市独自事業として開催する運びとなりました。

| | | |
|----------|-----------------|--------|
| ■ 実施日・場所 | 平成29年 9月 7日 (木) | 馴馬台小学校 |
| | 平成29年10月 3日 (火) | 八原小学校 |
| | 平成29年10月10日 (金) | 大宮小学校 |
| | 平成29年10月31日 (火) | 長山小学校 |

※午後1時から午後3時の間で実施予定（調整中）

■ 概 要

【演題】

「空をながめて天気の変化を知ろう」

【講師】

酒井 重典 気象予報士(龍ケ崎市気象防災アドバイザー)

（酒井気象予報士の授業に向けたコメント）

今夏もまた「平成27年九州北部豪雨」をはじめ全国各地で大雨による災害が発生しました。近年は雨の降り方が局地化、集中化、激甚化していると言われており、このような災害はいつでもどこでも起こりうることです。

子供達には日ごろから空を眺め、気象の変化を敏感に感じてもらい、いざというときには、“自分の命は自分で守る”という意識を理解してもらいたいという思いで、お話したいと思います。

担当課

龍ケ崎市 危機管理課 危機管理政策グループ
担当者：橘原（きつはら）・小野瀬（おのせ）
連絡先：0297-64-1111（内線352）